授業で勝負・先手必勝の挨拶・心を耕す読書

きざはし

金ケ崎町立金ケ崎中学校
令和２年度校報
第１５号
令和２年１０月９日発行
文責：高橋

令和２年度 体育祭

生徒会スローガン

「結 ～今、四組団が一つになる瞬間(とき)～」

令和２年度金ケ崎中学校体育祭が、１０月６日（火）に開催されました。当日は、雨が降ることも少し心配されましたが、比較的穏やかな天候の中で行うことができました。

体育祭は、例年５月に開催しておりますが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で２学期に延期となっておりました。内容も縮小し、他の行事との関係もあり、この日程となりました。参観者についても、観戦場所が限られていることから、３年生の保護者のみとさせていただきました。１・２年生の保護者の皆様には、大変申し訳ございませんでしたが、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

今年度の開祭式は、生徒会スローガンの「結」の字を、全校生徒で人文字を作るように整列。
前列の１３名は、金中太鼓を披露した応援団。
男子は剣舞、女子は西根甚句の衣装で整列。

金中の生徒の皆さんは、これまでに経験のない時期に、そして取り組み期間が大変短い中ではありましたが、まさに「一つになる」活動をしてきました。

特に、生徒会執行部をはじめとした、各組団、各係のリーダーの活躍も素晴らしかったです。生徒会執行部の、様々な準備をして運営することはもちろん、突発的なトラブルにも、柔軟に対処する姿は、さすがに全校の頭脳であると感心しました。

各係もリーダーを中心にしっかりと役割を果たしていました。

各組団では、競技のアドバイスや応援（サイレントパフォーマンス）の仕方を丁寧に１・２年生に指導したり、準備運動を一緒に行ったりする様子も見られました。３年生が行動で示し、下級生に伝えようとする姿は、金中の良き伝統であり、きっと２年生や１年生にも受け継がれるものと思います。

指先の使い方にも心を込めて踊った西根甚句

躍動感のある剣舞を披露してくれました

競技では、中学生らしくさわやかに、そして真剣に競い合っていました。そして、そこには体育祭を楽しむたくさんの笑顔もありました。また陣地では、各組団が工夫し、声を出さずに魂のこもった応援を続けていて、見ている私たちも、心の温かくなる時間でした。

サイレントパフォーマンス（ブルー組団）

１年女子徒競走

２年男子徒競走

３年女子徒競走

＜組団旗＞今年度は、組団旗を作成しました。

ブルー組団
「青誓堂々（せいせいどうどう）」

レッド組団
「乱華万紅（らんかばんこう）」

グリーン組団
「翠緑協心（りくりょくきょうしん）」

イエロー組団
「疾風黄雷（しっぷうおうらい）」

体育祭の様子については、次号でも紹介します。